

# 市民活動の拠点に関する取組

## 麻生区の現状と課題

- 1 市民活動の区の拠点施設として、平成19年4月「市民交流館やまゆり」が新たに開設。
- 2 施設運営は、区民が主体となって設立した「NPO法人あさお市民活動サポートセンター」が実施している。
- 3 市・区は施設運営のための財政的支援と他機関等との連携支援などを行い、**区民主体の運営の形態**を重視している。
- 4 市民活動の中間支援機能を有し、市民館などと連携した取組みを展開している。
- 5 市民館、社会福祉協議会などと重複する活動を整理し、連携方法の再検討が必要となっている。  
\* 各種講座の内容など
- 6 地域コミュニティの核となる、町内会・自治会とも連携した新たな検討が進められている。

### 【市民交流館やまゆりの設立経過】

H14年 あさひ銀行(現りそな銀行)から、新百合ヶ丘駅南口にあるグラウンド売却をし、土地利用転換したいとの申し出を受ける。(減歩率2%→42%)

H15年 「川崎新都市まちづくり推進協議会」設立  
・減歩された土地の利用に関する基本案合意  
→「地域での運営を視野に入れた多目的に市民ができる施設」が盛り込まれる。

- ・施設は、事業者が寄付する。
- ・区役所の管理施設とする。
- ・地域が主体的に関わる手法を構築する。

H16年 (仮称)新しい市民利用施設市民検討委員会設立  
・設置期間 : H16.12~H19.3  
・委員数 : 委員 28名、運営スタッフ 12名  
・開催状況 : 委員会 19回、運営検討部会 9回  
運営スタッフ会議 5回

H19.4 「市民交流館やまゆり」開館  
運営主体: 社団 あさお市民活動サポートセンター

H20.2 NPO法人化 現在に至る。

## 取組み状況

### 具体的運営状況

- 1 運営主体「NPO法人あさお市民活動サポートセンター」(スタッフ46名で対応)
- 2 川崎市は「NPO法人あさお市民活動サポートセンター」に施設運営に関する補助金を交付
- 3 麻生区は運營業務の一部を「NPO法人あさお市民活動サポートセンター」に委託  
①市民活動相談窓口 ②やまゆり市民講座の開催  
③ホームページなどを活用した情報発信 など
- 4 登録団体間の交流や施設の認知度向上のための自主事業の実施  
①登録団体交流会 ②区民講師による各種講座 など
- 5 開館時間: 月~金 9:30~17:00  
\* 平日夜間、土・日曜日、祝日については、予約がある場合のみ開館  
その場合、NPO法人理事が無給で窓口対応を実施

### ●運営スキーム



【参考】 利用登録団体数...524団体 (H23.8.末現在)  
稼働状況 ...約82% (H22年度)

## 具体的機能

### 1 場の提供

- 1 会議室 2部屋
- 2 サロン 1箇所
- 3 フリースペース 1箇所
- 4 機材等の貸与 \* 印刷機、PC他

### 2 相談窓口

- 1 毎週2回開催(火・木曜日)  
\* 活動団体紹介  
\* 活動場所の紹介 など

### 3 情報提供・発信

- 1 ホームページを活用した各種イベント等の案内
- 2 活動レポートの定期発行 など

### 4 人材育成

- 1 各種講座等の企画・運営  
\* 区民記者養成講座  
\* アクティブシニア  
\* ホームページ作成講座 ほか

### 5 事業支援など

- 1 区民提案型事業の企画・運営 (区から委託)
- 2 交流促進事業の開催(自主企画)  
\* 登録団体交流会 など

### 麻生まちづくり市民の会

- ・達人プロジェクト
- ・活動の場の調査や講座開催を通じた連携

連携

### 麻生市民館など

- 1 相談窓口の運営
- 2 シニア世代の参加に関する ことなど

## 今後の展開

- 1 「市民交流館やまゆり」を中心に、**区民が主体**となった市民活動団体等への取組み支援を通じ、更なる市民活動の活性化を推進する。
- 2 市民館、区社会福祉協議会と調整会議を開催し、それぞれの役割を明確にしながら連携のあり方などを再構築し、実施事業等の調整を進める。
- 3 町内会などが活動を展開する上で必要となるニーズを把握し、市民活動団体以外への「人材紹介」や「資機材貸与」などの実施に向けた調整の検討を進める。
- 4 今後予想される、施設の経年劣化による修繕費などの増加に対する費用負担のあり方などについても調整を進める。

## 麻生区の現状と課題

- 1 地域コミュニティづくりを推進のため、**3つの提案型事業**を実施している。
  - (1) 「**小地域のつながりネットワーク事業**」  
(運営: 地域保健福祉課)
  - (2) 「**町内会提案制度**」  
(運営: 地域振興課)
  - (3) 「**麻生区地域コミュニティ活動支援事業**」  
(運営: NPO法人あさお市民活動サポートセンター)
- 2 対象分野や対象金額等を差別化することで、分野毎に特化した取り組みを推進している。
- 3 区の市民活動の拠点施設の「**市民交流館やまゆり**」が一部運営をすることで、**区民が主体となり中間支援機能の役割**を担っている。
- 4 募集対象が限定されているため、区民が発見し解決のための活動をするための様々な提案に対し、十分な対応ができていなかった。
- 5 応募が減少傾向にある制度は、利用拡大に向けた対策が必要となっている。

## 取り組み状況

### 各提案制度の概要

#### 1 小地域のつながりネットワーク事業

対象事業: 地域福祉の推進を図るための事業  
 委託額: 総額予算 75万円(1事業 25万円以内)  
 実績: 平成20年度 申請数 6件 選定数 6件  
 平成21年度 " 8件 " 6件  
 平成22年度 " 3件 " 3件



<フォーラム開催模様>

#### 2 町内会提案事業

対象事業: 町内会・自治会が行う事業で、地域課題解決力向上や地域住民のつながりの促進等がされる事業  
 委託額: 総額予算内(100万円)で調整  
 実績: 平成20年度 申請数 1件 選定数 1件  
 平成21年度 " 0件 " 0件  
 平成22年度 " 1件 " 1件



<空き地を活用した自治会農園>

#### 3 麻生区地域コミュニティ活動支援事業

対象事業: 地域の新たなコミュニティづくりにつながる事業  
 助成額: 総額予算 70万円  
 (対象経費の80%以内かつ10万円以内)  
 実績: 平成20年度 申請数 11件 選定数 8件  
 平成21年度 " 9件 " 6件  
 平成22年度 " 13件 " 7件



<プレゼンテーション模様>

区役所主体の運営

NPO法人あさお市民活動サポートセンターの運営

3つの提案事業を通じて、区民自ら行う身近な地域課題解決に向けた取り組みへの支援を実施

## 今後の展開

- 1 「**地域課題解決型提案事業**」の新設(平成24年度)
  - ・地域課題の発見と解決を目的とした提案事業を新たに実施することで、区民・市民活動団体等の課題解決に向けた取り組みの活性化を推進する。
  - ・「小地域のつながりネットワーク支援事業」は地域福祉に関する分野に限定されており、上限額の増額等の要望もあったことから、本事業に統合し、より広い分野や地域、規模での展開を可能にする。
- 2 **町内会事業提案事業の継続**
  - ・町内会・自治会は地域のまちづくりのベースであり、その活動は地域の活性化を促進するためにも重要であることから当面継続する。併せて、提案件数の増加に向けた広報方法の見直しなども図っていく。
- 3 **麻生区地域コミュニティ活動支援事業の継続**
  - ・「市民交流館やまゆり」における市民活動の「中間支援機能」を継続するとともに運営主体であるNPO法人と連携した市民主体のまちづくりを支援していく。

### 1 「地域課題解決型提案事業」

区民自ら発見した地域課題や、区民会議で提言された事項の解決を図る提案など、応募対象を地域福祉以外の分野も拡大して実施。(平成24年度新設)

### 2 町内会提案事業

### 3 麻生区地域コミュニティ活動支援事業

新設する「**地域課題解決型提案事業**」と継続する2事業を通じ、より様々な地域課題解決に向けた取り組み提案を広く募集し、その活動を支援できる体制を整備していく。

# 第3期麻生区区民会議の取組

## 1 麻生区区民会議の構成

全体会議（全体テーマ「人と人と心をつなぐ地域づくり」）

(1) 企画部会(8名:兼務)  
役割：課題調整、広報広聴

(2) 地域交流・文化部会(10名)  
審議テーマ  
・「高齢者・障がい者などが暮らしやすい環境づくり」  
・「区民が主体となって進める芸術・文化のまちづくり」

(3) 環境・緑化部会(10名)  
審議テーマ  
・「循環型のまち・生ごみリサイクル」  
・「グリーンアップ・里山ボランティア」



<区民会議開催状況>

## 2 委員構成

団体推薦7名、区長推薦6名、公募7名の構成。公募委員が他区に比べ多いのが特徴。

地域交流・文化部会	環境・緑化部会
団体推薦(4名)	団体推薦(3名)
麻生区社会福祉協議会	麻生区町会連合会
麻生区商店街連合会	川崎市美化活動実施麻生支部
麻生区文化協会	麻生区子ども会連合会
麻生区交通安全対策協議会	
区長推薦(3名)	区長推薦(3名)
NPO法人しんゆり・芸術のまちづくり	田園調布学園大学
NPO法人あさお市民活動サポートセンター	セレサ川崎農業協同組合
昭和音楽大学	麻生まちづくり市民の会
公募(3名)	公募(4名)

\*企画部会は、委員長(1)、副委員長(2)、各部会長(2)、その他委員(3)で構成

## 3 取組パターン

(1) 「調査・審議」→提言

①現状の課題整理 → ② 実態調査(「ヒアリング調査」など) → ③提言  
\* 課題の検証

(2) 「調査・審議」+「モデル事業」→ 提言

①現状の課題整理 → ② 実態調査(「ヒアリング調査」など) → ③モデル事業の実施 → ④提言  
\* 課題の検証

## 4 各部会の調査・審議状況

(1) 地域交流・文化部会

① 審議テーマ「高齢者・障がい者などが暮らしやすい環境づくり」  
\* 高齢者の課題を中心に、地域でささえ合うコミュニティづくりについて調査・審議する。

ア 関係団体等へのヒアリング調査の実施  
調査対象: 区社会福祉協議会、ボランティア団体(3団体)、町内会・自治会(3会)  
イ 課題解決に向けた方向性  
・広報方法の検討  
・担い手の発掘方法の検討  
・地域の絆づくりの検討

② 審議テーマ「区民が主体となって進める芸術・文化のまちづくり」

\* 「しんゆり・芸術のまち」を推進し、認知度を高めるために必要な事項を調査・検討する。  
ア 関係団体等へのヒアリング調査の実施  
調査対象: 麻生区をフィールドとしている芸術・文化関連催事の実施母体組織(8団体)  
イ 課題解決に向けた方向性  
全てのヒアリング調査終了後、課題を分析し解決策の検討を実施する。

(2) 環境・緑化部会

① 審議テーマ「循環型のまち・生ごみリサイクル」

\* 循環型のまちを目指し、各家庭から出るごみの減量化やリサイクル活動の取組の促進などについて調査・審議する。

ア 「麻生区生ごみアンケート」の実施  
調査対象: 麻生区内在住の方(1,165名回収)  
イ 区民会議フォーラムの開催(平成23年9月25日 参加者 105名)  
ウ 「エコのまちあさお」啓発パンフレットの作成・配布(第2期区民会議からの継続)  
エ 課題解決に向けた方向性  
・生ごみリサイクル(堆肥化)などのごみ減量に向けた取組の検討  
・モデル事業の実施に向けた検討・調整(堆肥の「もらいます」・「あげます」)など

② 審議テーマ「グリーンアップ・里山ボランティア」

\* 麻生区内で緑の保全活動が行われていない手付かずの緑地の保全を目的に、里山ボランティアを新たに組織し活動を実施する。

ア 麻生区の緑地の現状把握  
・区道路公園センターによる勉強会の開催  
イ 課題解決に向けた方向性  
・市有地の緑地の中から、素人でも活動のできる緑地2箇所を選定し、ボランティアや地元の町内会・自治会などと連携した下草刈りなどのモデル事業を実施予定



<区民会議フォーラム開催状況>

## 5 麻生区の特徴や課題

- 公募委員が多いことで、幅広い地域課題について情報を共有しながら取り組むことができている。
- ヒアリング調査やモデル事業の実施など委員自ら行動し、その結果を踏まえた提言となっている。
- 課題の抽出 → 審議テーマの選定までに長期間費やしてしまい、具体的な課題解決に向けた調査・審議にかけられる時間が少なくなってしまう傾向がある。他区の運営方法なども参考にしながら、具体的な取り組みにかけられる時間をより多く確保できるように、運営方法の見直しの検討が必要となっている。